

平成28年度全国学力・学習状況調査 川越市立小・中学校の調査結果（中学校3年）

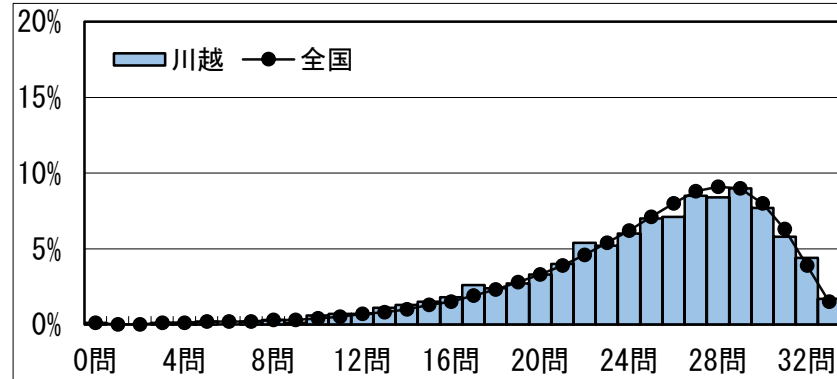
教科に関する調査 中学校：国語

平均正答率 国語A：75.0% 国語B：64.6%

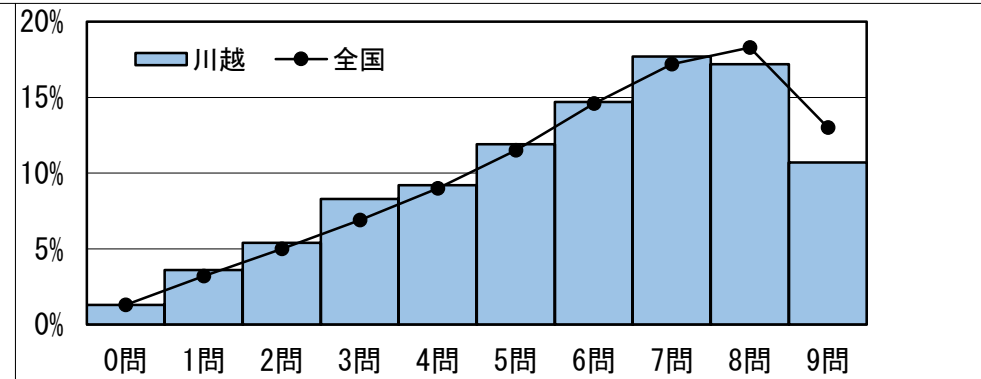
正答数分布グラフ（横軸：正答数 縦軸：割合）

1 正答分布率（正答数ごとの児童の割合）

【国語A】主として「知識」に関する問題



【国語B】主として「活用」に関する問題



2 国語の調査結果の概要及び指導改善のポイント（◇良好である点 ◆課題がある点）

【結果概要】◇相手や場に応じた言葉遣いなどに気を付けて話すことは、相当数の生徒ができています。

◇文脈に即して漢字を正しく読んだり、語句の意味を理解し文脈の中で適切に使ったりすることは、相当数の生徒ができています。

◆根拠を明確にして自分の考えを具体的に書くことに依然として課題がある。

◆文章の構成や展開、表現の仕方について自分の考えをまとめることに課題がある。

【指導改善のポイント】

○根拠を明確にして自分の考えを書く力を身に付けさせるためには、読み手がその文章を読む意図や目的を意識しながら、考えの根拠となる内容が適切に取り上げられているか、読み手に対してどの部分が根拠であるかが分かるように示されているか、伝えたい事柄等にふさわしい語句や文の使い方になっているかなど、文章を複数の観点から見直すように指導することが重要である。

○文章の構成や展開、表現の仕方について自分の考えをまとめる力を身に付けさせるためには、自分の考えを支える根拠となる段落や部分などを挙げるように指導する必要がある。そのような表現をした書き手の目的や意図を考えたり、その効果について考えたりするように指導することが大切である。

平成28年度全国学力・学習状況調査 川越市立小・中学校の調査結果（中学校3年）

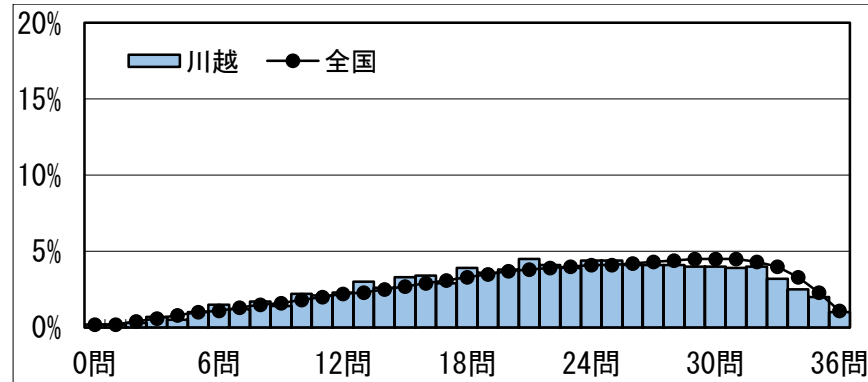
教科に関する調査 中学校：数学

平均正答率 数学A：60.3% 数学B：43.5%

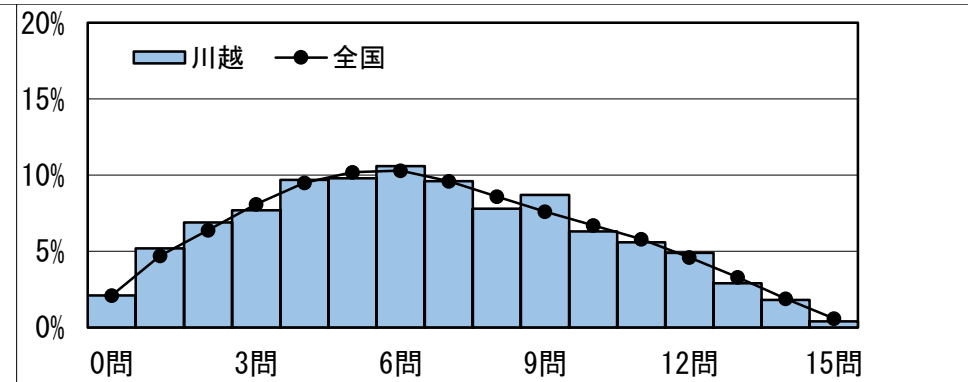
正答数分布グラフ（横軸：正答数 縦軸：割合）

1 正答分布率（正答数ごとの児童の割合）

【数学A】主として「知識」に関する問題



【数学B】主として「活用」に関する問題



2 数学の調査結果の概要及び指導改善のポイント（◇良好である点 ◆課題がある点）

【結果概要】◇加減乗除を含む正の数と負の数の計算、整式の加法、減法の計算は、相当数の生徒ができています。

- ◆反比例のグラフ上の点の座標から、 x と y の関係を式で表すことに課題がある。
- ◆加えるべき条件を判断し、それが適している理由を説明することに課題がある
- ◆資料の傾向を的確に捉え、数学的な表現を用いて判断の理由を説明することに課題がある。

【指導改善のポイント】

- 具体的な事象における2つの数量の変化や対応の特徴を表・式・グラフを用いて捉え、それらを相互に関連付けて考察することを通して、どのような関数になりそうかを検討し、関数を判断する活動を重視することが大切である。
- 問題解決の方法に焦点を当て、「用いるもの」と「用い方」を明確にして問題解決の方法を説明する活動を充実することが大切である。その際に、表・式・グラフをどのように用いればよいか説明し合う場面を設定し、検討する活動を充実させることが大切である。
- 文字を用いて処理した式に基づいて、問題を解決する方法を説明することができるようにするために、問題を解決するための対象を捉え、その上で、文字を用いた式を読み取り、解釈について検討し、それを数学的に説明する活動を充実させることが大切である。